

硬式野球部

①チーム紹介	②施設紹介	③試合情報
④野球部の戦歴	⑤OBの活躍	⑥社会貢献活動



①チーム紹介

理念

- ・全生徒の模範となるように努力し、全職員から愛される部であれ
- ・野球選手である前に、立派な高校生であれ
- ・文武不岐の精神を貫き、文武両道を実現せよ

目的

I 野球部活動を通しての人間形成

- ・五つの心を兼ね備えた人であれ
 1. 「ハイ」という素直な心
 2. 「すみません」という反省の心
 3. 「お陰様で」という謙譲の心
 4. 「させていただきます」という奉仕の心
 5. 「有難うございます」という感謝の心
- ・ゴミを捨てる側の人間ではなく、拾う側の人間であれ
- ・日本一の負けず嫌い、されど良き敗者たれ

Ⅱ 野球文化に貢献する

野球に関する技術や知識を身に付け大学で野球を続ける、さらには将来の指導的人物としての資質を身に付け、卒業後も何らかの形で野球に携わり、野球文化に貢献する。

目標

「全国制覇」～甲子園で校歌を歌う～

・活動日及び時間

月曜日 原則休養日
火曜日～金曜日 朝:7:30～環境整備→その後学びの活動(各自で何をするかを決めて活動)
業後:練習(15時40分頃～)
土曜日・日曜日・祝日 シーズン中は主に県内外で練習試合(対戦校は試合情報からご覧ください)
オフシーズン(12月から2月)は、原則1日練習。他校と合同練習もあり。

・部員数(R5・9月現在)

	1年生	2年生	3年生	計
選手	15名	15名	11名	41名
マネージャー	2名	1名	1名	4名
計	17名	16名	12名	45名

・最近の結果(全三河大会は優勝、県大会はベスト16以上を掲載)

2023年(R5)6月 第148回中日旗争奪全三河高校野球大会 優勝
2022年(R4)11月 第95回記念選抜高校野球大会 21世紀枠県推薦
2022年(R4)9月 第75回愛知県高等学校野球選手権大会 ベスト8
2022年(R4)4月 第72回愛知県高等学校優勝野球大会 ベスト16
2021年(R3)5月 第144回中日旗争奪全三河高校野球大会 優勝
2021年(R3)4月 第71回愛知県高等学校優勝野球大会 ベスト16



(第95回記念選抜高校野球大会 21世紀枠県推薦 表彰伝達式にて)

②施設紹介

校内グラウンドは、サッカー部・陸上競技部と共用も、野球が思う存分できる環境が整っています(現在、グラウンド人工芝計画中【内野以外全面】)。

夜間照明(内野に4つ LED ライト)があるため、暗くなっても内野での練習は可能です。

校内グラウンド(野球部・サッカー部・陸上部で共用)
400Mトラックを書いても野球部黒土には入らない広さ。



校外にボールが出ないよう、天井ネットがあります。本校で練習試合も行います。



夜間照明(LED)が4個ついており、暗くなっても内野での練習は可能。



屋根付き 3 塁側ブルペン
バッティング練習 (鳥かご 2 箇所)



ウェイトトレーニングスペース



バックネット裏



整備道具



ダッグアウト



③試合情報

・練習試合 対戦校紹介(B 戦は網掛け・五十音順)

(愛知県) 愛知高校・愛知総合工科高校・安城高校・一宮高校・大府高校
蒲郡高校・向陽高校・至学館高校・時習館高校・昭和高校
星城高校・豊橋西高校・西尾東高校・西春高校・名古屋大学
(岐阜県) 市立岐阜商業高校・大垣北高校・大垣商業高校・大垣西高校
大垣養老高校・各務野高校・岐阜高校・岐阜北高校
関商工高校・中京高校・長良高校
(三重県) 菰野高校・桑名西高校・昂学園高校・津商業高校・白山高校
三重高校・三重海星高校・四日市高校
(静岡県) 掛川西高校・静岡高校・静岡商業高校・遠江総合高校
浜松修学舎高校・藤枝明誠高校・静岡大学
(神奈川県) 慶應義塾高校
(東京都) 東京大学
(千葉県) 東京学館船橋高校
(埼玉県) 川口市立高校
(福井県) 工大福井高校・敦賀気比高校
(奈良県) 天理高校・奈良大附属高校
(京都府) 乙訓高校・京都国際高校・鳥羽高校・立命館宇治高校
(滋賀県) 近江高校・光泉高校・彦根東高校
(大阪府) 興国高校・香里丘高校
(兵庫県) 神戸学院大学附属高校・神戸国際大学附属高校
報徳学園高校
(和歌山県) 市立和歌山高校
(徳島県) 阿南光高校

・公式戦日程及び結果

公式戦日程及び結果につきましては、愛知県高等学校野球連盟ホームページ(下記)からご覧ください。

[一般財団法人愛知県高等学校野球連盟 \(aichi-kouyaren.com\)](http://aichi-kouyaren.com)

④野球部の戦歴

【甲子園出場後の全国高等学校野球選手権(夏)の主な戦績(ベスト 8 以上掲載)】

・2018 年	第 100 回全国高等学校野球選手権	東愛知大会	ベスト 4
・2015 年	第 97 回全国高等学校野球選手権	愛知大会	ベスト 8
・2009 年	第 91 回全国高等学校野球選手権	愛知大会	準優勝
・2008 年	第 90 回	〃	東愛知大会 ベスト 4
・1998 年	第 80 回	〃	東愛知大会 ベスト 8
・1995 年	第 77 回	〃	愛知大会 ベスト 4
・1994 年	第 76 回	〃	愛知大会 ベスト 8
・1989 年	第 72 回	〃	愛知大会 ベスト 8
・1981 年	第 64 回	〃	愛知大会 ベスト 4
・1979 年	第 62 回	〃	愛知大会 ベスト 4

【中日旗争奪全三河高校野球大会の成績(優勝のみ掲載)】

・2023 年	第 148 回中日旗争奪全三河高校野球大会	(春)	優勝
・2021 年	第 144 回	〃	(春) 優勝
・2012 年	第 127 回	〃	(秋) 優勝 5連覇(大会史上初)
・2012 年	第 126 回	〃	(春) 優勝 4連覇(大会史上初)
・2011 年	第 125 回	〃	(秋) 優勝 3連覇
・2011 年	第 124 回	〃	(春) 優勝 連覇
・2010 年	第 123 回	〃	(秋) 優勝
・2006 年	第 115 回	〃	(秋) 優勝
・1993 年	第 89 回	〃	(秋) 優勝
・1991 年	第 85 回	〃	(秋) 優勝
・1982 年	第 67 回	〃	(秋) 優勝

【県高等学校優勝野球大会(春)の主な成績(ベスト 16 以上)】

・2022 年	第 72 回愛知県高等学校優勝野球大会	ベスト 16
・2021 年	第 71 回愛知県高等学校優勝野球大会	ベスト 16
・2019 年	第 69 回愛知県高等学校優勝野球大会	ベスト 16
・2018 年	第 68 回愛知県高等学校優勝野球大会	ベスト 16
・2017 年	第 67 回愛知県高等学校優勝野球大会	ベスト 16
・2015 年	第 65 回愛知県高等学校優勝野球大会	ベスト 16
・2013 年	第 63 回愛知県高等学校優勝野球大会	ベスト 16
・2010 年	第 60 回愛知県高等学校優勝野球大会	ベスト 16
・2008 年	第 58 回	〃 ベスト 8
・2006 年	第 56 回	〃 ベスト 16
・1995 年	第 45 回	〃 ベスト 16
・1994 年	第 44 回	〃 ベスト 8
・1990 年	第 40 回	〃 ベスト 16
・1978 年	第 28 回	〃 準優勝

【県高校野球選手権大会(秋)の主な成績(ベスト 16 以上)】

・2022 年	第 75 回愛知県高校野球選手権大会	ベスト 8
「21 世紀枠」愛知県推薦校		

・2016 年	第 69 回愛知県高校野球選手権大会	ベスト 16
・2015 年	第 68 回愛知県高校野球選手権大会	ベスト 8
・2014 年	第 67 回愛知県高校野球選手権大会	ベスト 16
・2012 年	第 65 回愛知県高校野球選手権大会	ベスト 16
・2011 年	第 64 回	〃
・2009 年	第 62 回	〃
		「21 世紀枠」東海地区代表推薦校
・2003 年	第 56 回	〃
・1997 年	第 50 回	〃
・1993 年	第 46 回	〃
・1992 年	第 45 回	〃
・1991 年	第 44 回	〃
・1984 年	第 37 回	〃
・1982 年	第 35 回	〃
・1981 年	第 34 回	〃
・1977 年	第 30 回	〃
		準優勝

第 82 回選抜高校野球「21 世紀枠」東海地区代表推薦校表彰式

12 月 22 日(火)に、刈谷高校の体育館で、第82回選抜高校野球「21世紀枠」東海地区代表推薦校表彰式が行われました。

第 82 回選抜高校野球「21 世紀枠」愛知県推薦校表彰式

11 月 19 日(木)に、刈谷高校の体育館で、第82回選抜高校野球「21世紀枠」愛知県推薦校表彰式が行われました。

第 91 回全国高等学校野球選手権 愛知大会 決勝へ進出



ノーシードから勝ち上がり、決勝進出

中京大中京に 0-5 で敗れ、準優勝

チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
刈 谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中京大中京	2	0	0	1	0	0	1	1	×	5

・春の選抜

第 50 回大会に、愛知県の代表として出場

1978年3月

1948年に創部して30年目の快挙！学校の創立60周年と重なり、大いに盛り上がった。
試合は初日第2試合に、”怪腕”津田を擁する南陽工(山口県)と対戦。1対3で敗れた。



- 「刈谷高校野球部50年史」を1999年に発刊

⑤OB の活躍

野球部OBの活躍

飯田 裕太 二塁手（平成22年度卒） → 東京大卒 → 東邦ガス
第91回都市対抗野球大会出場（2020年）



鈴木 一矢 (Suzuki Kazuya) 外野手（平成25年度卒） → 京都大卒 → 日本新薬
第91回都市対抗野球大会ベスト4（2020年）



大竹 哲司 外野手（平成27年度卒） → 筑波大

第49回明治神宮野球大会出場（2019年）



八木 響 三塁手（平成27年度卒） → 広島大

第67回全日本大学野球選手権大会出場（2018年）



本田 昂大 投手（平成27年度卒） → 広島大

第67回全日本大学野球選手権大会出場（2018年）球速146km/hを計測



石田 雄大 投手(平成 28 年度卒) → 静岡大 → 西濃運輸
第 93 回都市対抗野球大会・第 94 回都市対抗野球大会出場



樋口 耕平 内野手(令和 3 年度卒) → 大阪公立大学
第 72 回全日本大学野球選手権大会出場



⑥社会貢献活動

硬式野球部では、地域や世界の笑顔のために様々な活動に参加・企画運営をしています。

- ①毎週木曜日には、地域の清掃活動
- ②JICA 海外協力隊「世界の笑顔のために」プログラムを通しての道具の寄贈
- ③刈谷市国際交流協会の協力のもと、国際交流イベントの開催

刈高野球部が国際交流

- 2023.03.25 <https://www.e-hn.net/?p=18286>

「言葉の壁超えられた」

愛知県立刈谷高校の野球部が 5 日、スポーツイベント「日本の野球文化を学び、国際交流をしよう」を同校のグラウンドで開き、市国際交流プラザの日本語教室で学ぶ外国人住民と親睦を深めました。

ブラジルやベトナム、中国、タイなど英語以外を母国語とする 7 カ国の約 20 人が参加。野球になじみの薄い国の出身者も多く、部員たちはグローブの使い方やバットの構え方など、ジェスチャーを交えて丁寧に説明しました。

部員たちは準備体操に、各国の言葉で「1、2、3」と声をかけ合ったり、鬼ごっこをしたりして場を和ませる工夫も。投打の練習をした後、2 チームに分かれたソフトボール対抗戦で盛り上がりました。

部員の青山さん(2 年)は「自分たちの企画にみんなが笑顔になってくれた。言葉の壁を超えてつながることができた」と手応えを感じた様子。グローブに初めて触ったというベトナム出身のファンさんは「野球を見るのが楽しくなりそう。刈谷高校の野球部を応援します」と話していました。



「ボール打って走る、なぜ？」ベトナムの子の疑問 応えた高校球児

良永うめか 2023 年 6 月 29 日 11 時 00 分

<https://www.asahi.com/articles/ASR6R6FDQR6LOIPE008.html>

拳より大きなゴムボールを 3 本指でぎゅっと握る。右肩を引いて、左脚を少し上げて――。[ベトナム](#)出身で、[愛知県刈谷市](#)に住む小学 3 年、グエン・タイ・バオくんは、ボール投げが大好きだ。投球フォームは、県立刈谷高校の野球部員から教えてもらった。

「日本の野球文化を学び、国際交流をしよう」

今年 1 月、刈谷市国際交流協会の日本語教室で、刈谷の野球部からチラシが配られた。[外国籍](#)の住民向けに、スポーツイベントを開くというものだった。

バオくんの父親のリンさん(33)は 5 年ほど前に来日した。金属加工の工場で働きながら日本語教室に通っている。チラシを目にして長男のバオくんの顔が浮かんだ。「色んな体験をさせたい」。2 人で参加することにした。

母国のベトナム 野球は「はやっていない」でも興味

ただ、リンさんらの母国ベトナムでは、野球は「流行していない」。人気はサッカーだ。「野球はやり方がわからない。何のためにボールを打って走っているかわからなかった」

イベント当日、刈谷高校のグラウンドには、[ブラジル](#)、タイ、中国、[インドネシア](#)など 7 カ国出身の約 20 人が集まった。リンさんらのように、野球になじみがない人がほとんどだった。

部員が色んな国のあいさつで出迎えた。それから始まったのは鬼ごっこ。リンさんは「子ども向けの遊びから入って、すぐに夢中になりました」。

ボールの投げ方やバットの振り方も教えてもらった。バオくんとペアを組んだのは、神谷諭(さとし)選手(3 年)。バオくんは初め怖がっている様子だったが、ボール投げを始めると、すぐにのめり込んだ。「バットとかキャッチするのとおもしろい」。部員と参加者で混合チームを作り、試合もした。眺めていたリンさんも、野球の魅力に気がついた。「チームの中で一番強い人がいても、勝てないところがおもしろい」

イベントのきっかけは、森藤(もりとう)秀幸監督(42)が日本語教室のボランティア、鈴木崇さん(49)に声をかけたことだ。

愛知県で働く外国人に野球を楽しんでほしい

自動車産業が集積する愛知県内では、多くの外国人がさまざまな工場働いている。トヨタ系の会社が多い刈谷市では、住民の 3・5%を外国人が占める。

森藤監督や鈴木さんは「日本の伝統のある野球を見てほしい」「部員に言葉の通じない人と接する経験をしてほしい」などと思いを交わし、話は進んだ。

イベントの内容は、野球部員自らで話し合った。部員たちは日本語教室を回り、案内した。見守った森藤監督は「初めは部員の話すスピードがどら速くて、説明が伝わってなかった」と振り返る。

試行錯誤した青山琉生(るい)主将(3 年)は「身ぶり手ぶりや、大きな声でゆっくり、簡単な日本語を使うことを意識しました」。楽しんでもらおうと、イベント前には参加

者の母国語を簡単に勉強した。

部員たちの思いは、参加者たちに伝わったようだ。

バオくんはイベント後、近所の少年野球チームの体験に行くほどに。学校のボール投げテストでは、神谷選手から伝授された投げ方でクラス 2 位になった。「頭が良くて運動神経が良くて、かっこいい」と野球部員への憧れを口にする。

部員らも、得るものが多かった。バオくんにつきっきりだった神谷選手は「本格的に野球をやっていると、結果ばかり求めてしまう。野球の本質にある、楽しむ大切さを感じることができた」。青山主将も「野球を知らない人に教えるのは難しかったが、野球人口が減っている中で興味を持ってくれてうれしい」。

イベントはこれからも継続的に開く予定だ。

愛知大会の抽選会翌日の 6 月 18 日、日本語教室から帰ろうとするリンさんに鈴木さんが声をかけた。「刈谷の 1 回戦を見に行かないか」

バオくんは「(野球部員に) また会いたい」。リンさんも「ぜひ見に行きたい。もちろん、刈谷高校野球部を応援します」。(良永うめか)

[「ボール打って走る、なぜ？」ベトナムの子の疑問 応えた高校球児 - 高校野球：朝日新聞デジタル \(asahi.com\) より](#)



⑦その他の活動

初詣(毎年1月練習はじめ)



親子ソフトボール大会(毎年12月開催)



東京大学運動会硬式野球部合同練習 (R5 関東遠征にて)



全国高等学校野球選手権愛知大会 壮行会(毎年7月)

